

平成24年10月7日の定期保守作業

午後からの作業で、汽車倶楽部にて9600形59647号機とC61形18号機の作業を行ったあと、直方いこいの村へ移動し、D51形225号機の作業を行いました。「直方いこいの村」への移動前に、59647号機の前で久々の記念撮影も行いました。

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
①9600形59647号機		<p>コンプレッサー部への注油です。「本当はココから注油するんじゃないんだけどねえ～」と言いながら楽しそうに作業。このコンプレッサーの設置位置が、キューロクの特徴のひとつでもあったりします。因みに、この部分は今でも可動します。ほかにもブレーキなど、各部が可動するので、見ていると本当に走り出すんじゃないかと思うくらいです。</p>
		<p>ヘッドライト部分をキレイに磨き上げています。が、この場所は地上から3メートル以上という、かなりの高所です。「怖くないですか～？」と尋ねてみたところ、「何度もやっている」と流石に慣れてきたし、ちゃんと安全帯を装着しているから大丈夫。でも気は抜かないようにしてますよ」との事。安心しました・・・</p> <p>事故は「慣れてきた」と思った頃に起こります。一歩間違えば命にも関わるような作業をしている訳で、ひとり一人が十分に注意して、作業にあたっておられます。</p>
		<p>こちらは「非公式側」というか、車庫を開けた時の裏側にあたる所で、なかなか見る機会はないと思います。だからといって手抜きはなく、こうしてちゃんと磨きあげています。</p>
		<p>こちらのお三方は、テンダー裏側の、それも腰下部分を磨きながら何か「密談」でもしているのでしょうか・・・</p> <p>作業のようすをお伝える画像、殆どが「ボイラー」と呼ばれる前側の部分に偏ってしまいがちです。見た目にも目立つので致し方無い所なのですが、ちょっと地味にも思えるテンダー側も、ちゃんと面倒を見えています。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>こちらは屋外保管という事で、季節柄どうしても、こういう事になってしまいます。 あちらこちらに「蜘蛛の巣」が張り巡らされていました。それも直径1メートルは裕にあらうかという巨大なヤツまで。蜘蛛の方からすれば、餌を捕えるのに絶好のポジションなのでしょうが、保守管理する我々からすれば迷惑千万なわけで、蜘蛛には申し訳ないけど、除去させて頂きました。</p>
<p>②C61形18号機</p>		<p>蜘蛛の巣除去もあり、4人がかりでキレイにしていきました。作業を終えて、蜘蛛の巣もキレイに払われたC61は、誇らしげに見えました。</p>
		<p>一方で、苦勞して作り上げた巣を完全に破壊されてしまった蜘蛛。 体のでかいはメスかな？かなり御立腹の御様子です。そりゃそうでしょ、大事な「自宅兼定置網」を壊されたんですから。「ふざけんじゃないわよ、どーしてくれんのよ！」とでも言ってる？ ま、2~3日もすればまた、立派な巣を作り上げている事でしょう。御願ひ、恨まないでね・・・ しっかし、デカイ蜘蛛でした。体長10センチは裕にあったかな？</p>
		<p>普段は殆ど見られないサイドビューを、作業後にパシャリ！シリンダーブロックは、カバーが外された状態となっています。こういう造形は滅多に見られないと思いますので、貴重な画像ではないかと思ひます。この角度から撮影すると、頭部だけとは思えない迫力ですね。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
◎D51形225号機		<p>この日は、国鉄バスが九州鉄道記念館へ「出稼ぎ」に行ったため、現場へは各自移動となりました。到着後、早速作業にとりかかります。この時点では、まだ空には晴れ間が広がっていたのですが・・・</p>
		<p>何だか雲行きが怪しくなってきました。 「雨、降らんかいねえ～？」 「大丈夫やないとお？」 ここで降られたら皆びしょ濡れです。「何とか持って」と祈りながら(?)作業にあたります。</p>
		<p>機関車の周囲は、雑草がかなり生い茂っていました。 ”地上班”のメンバーは「草むしり」に勤むことに。</p>
		<p>取った雑草で、あっという間に小さな山が出来ました。 結局、最後まで雨に降られる事はなく、無事に作業を終了する事が出来ました、参加された皆さま、お疲れ様でした。</p>